

令和5年度  
足代小学校  
「学力向上実行プラン」

学校の教育目標を踏まえた学力向上の重点目標

学習活動を充実し、基礎的・基本的な学習を定着させ、主体的に学習に取り組む態度を育てる。

◎次の(1)～(3)をバランスよく取り組み、学力の向上を推進

【各校の取組状況の把握について】

管理職による授業参観や教員からの報告等、様々な機会を捉え、取組状況の把握を行う。

(1)知識・技能の習得

児童生徒の状況(○よさ・●課題)	具体的目標(目指す子供の姿)	具体的方策(教員の取組)	中間期の見直し	達成状況(評価)	次年度における改善事項
○漢字の読み書き・音読・四則計算などは、全体的に定着が見られる。課題に対しては真面目に取り組む。 ●目的や意図に応じて文章を正確に読み取る力や、書く力に課題がみられる。	・基礎的・基本的な知識や技能を確実に身につけることができる。 ・目的に応じて必要な情報を見つけ、何が書かれているかを読み取ることができる。 ・課題に応じて、適切に文章を書くことができる。	・紙型ドリルでの一斉指導だけでなくジャストドリルなども併用して、漢字計算のドリル学習を継続的に行ったり、認知機能強化としてコグトレオンラインを活用し、学力の素地となる力をつけるためのトレーニングを取り入れたりして、個々の学力に合った個別最適な学びができるよう基礎・基本の定着を図る。 ・ICTを効果的に活用し、作図や体験活動を取り入れることで知識の理解を深めるようにする。 ・アンダーラインや囲み等を使い、読解の手助けになるようにする。 ・日記や作文等の表現活動で書き表し方の例文を提示するなどして適切な文章を書く支援をする。 ・読む目的を明確にし、複数の情報の内容を比べ読みするなど、効果的な読みの工夫を取り入れることで、多様な資料から必要な情報を収集できるようにする。	・反復学習を継続的に行うことで、基礎的・基本的な知識や技能の習得を図る。 ・読み聞かせや昼読書の時間を確保し、「ビブリオバトル」など様々なジャンルの本が読めるよう学級全体に広げる取り組みを工夫する。	・紙型ドリルでの一斉指導だけでなく、ジャストドリルや学習者用デジタル教科書なども併用して、個々の学力にあった個別最適な学びができた。 ・全国学力テストや県ステップアップテストでは、話すこと・聞くこと・書くことに課題が残った。 ・1日あたりの読書の時間が全国平均と比べて下回る割合が大きかった。	・アンダーラインや囲み等を使い、読解の手助けになるような方法を指導したり、書き表し方の手立てとなるように、書き出しや書き結びを提示し、書き表し方の例文を準備したりするなどの指導を引き続き粘り強く続けていく。 ・引き続き読む目的を明確にし、複数の情報の内容を比べ読みするなど、効果的な読みの工夫を取り入れることで、多様な資料から必要な情報を収集する経験を積み重ねる。 ・読書タイムをきちんと確保したり、週末課題に読書を取り入れたりして、読書量を増やすようにする。

(2)思考力・判断力・表現力等の育成

児童生徒の状況(○よさ・●課題)	具体的目標(目指す子供の姿)	具体的方策(教員の取組)	中間期の見直し	達成状況(評価)	次年度における改善事項
○ICT 機器を使って自分の考えを書いて提出や発表をしたりペアやグループ、全体で意見を積極的に発表・表現したりすることができる。 ●根拠を示して説明したり、他者の発表を受けて自分の考えと比べながら聞いたり考えを述べたりすることには課題がある。	・自分の考えや思ったことを、根拠を示して書いたり話したりできる。 ・他者の発表を自分の考えと比べながら聞くことができる。 ・他者の発表を受けて、自分の考えと比べながら自分の意見や考えを述べ、学びを深めることができる。	・他者の考えを受け入れて自分の考えを深められるように、GIGA 端末を使って一人一人の考えを共有する場面を増やし、自分の考えと他者の考えを比べながら思考して自分の考えを述べ、学びを深めることができる活動を設定する。 ・自分の考えや思ったことをわかりやすく伝える手立てとして、図や思考ツールなどを効果的に取り入れる方法を提示する。 ・自分の考えをペアやグループ、全体で共有し、他者を参考に新たな考えを書き足す時には、文字色を変えるなど考え方の変容を分かりやすくまとめさせる。 ・自分の考えを表すときには、根拠となる文章(叙述)と自分の意見を結びつけて(セットにして)表現できるような習慣をつけさせるようにする。 ・話し合いを進めるとき具体的なポイントを明確にし、話型を提示して司会の立場を経験させるなど、実践の中で場の状況に対応して話す力をつけていくようにする。	・条件に即して文章に書いてまとめる機会を多く設ける。 ・書き表し方の手立てとなるように、書き出しや書き結びを提示したり、書き表し方の例文を準備したりする。 ・小集団や全体で話し合いの経験を積み重ねる。 ・話し合いやインタビューなどを撮影したものを視聴しながら聞くときには、発言のよいところや疑問点、共通点や相違点を考えながら聞くように指導する。	・GIGA 端末のアプリを使って自分の考えを具体的に書いてまとめて提出や発表をさせたり、ペアやグループ、全体で意見を共有したりする機会を多く設定し自分の考えを深めることができた。 ・思考ツールを活用して、考えを整理してまとめる方法を効果的に用いて学習することができた。 ・話し合いの進め方について指導を進めているところであるが、全国学力テストや県ステップアップテストでは、話すこと・聞くこと・書くことにはまだ課題が残った。	・引き続き、自分の考えを、「図示」や思考ツールなどを活用して整理して書いてまとめ、よりわかりやすく伝わる書き表し方の工夫を考えいろいろな形態でそれを共有する機会を多くもてるようにする。 ・自分の考えを表すときには、根拠となる文章(叙述)と自分の意見を結びつけて(セットにして)表現できるような習慣をつけるようにする。 ・小集団や全体で話し合いの経験を積み重ね、聞くときには、発言の内容について発言のよいところや疑問点、意見の共通点や相違点について考えながら聞くように指導を続けていく。

(3)主体的に学習に取り組む態度の育成

児童生徒の状況(○よさ・●課題)	具体的目標(目指す子供の姿)	具体的方策(教員の取組)	中間期の見直し	達成状況(評価)	次年度における改善事項
○授業に一生懸命取り組み、自主学習ノート(プラスワン学習)1頁分を目安に取り組むことができる。 ●自分の学んだことを振り返り、基礎・基本の内容を基に、自分で計画を立て主体的な学習を進めることや、振り返りを活用して次時に課題をつなげることに課題がある。	・各教科の学習に主体的に取り組む。学ぶ楽しさや喜びを感じることができ、自信をもつことができる。 ・自分の学習の状況をしっかりと振り返り、自らの課題を解決できるよう計画を立て、学習を進めることができる。	・東みよし町の「学びの手引き」にあるノート指導や学習姿勢を徹底し、「めあて」から「まとめ」まで思考・判断する場面を設定し、最後に学習をふり振り返り自己評価を行わせる。 ・家庭との連携を密にし、保護者と共に家庭学習の習慣化を図り、特にプラスワン学習の意義と仕方を説明する。 ・授業構成の時間配分を考えて振り返りタイムを確保し、振り返りのポイントを伝え、自分で書いたりペアで伝え合ったりさせるなど学習に対する意欲が高まるような振り返りをさせる。	・児童がノートで解決の過程を試行錯誤していることや表現していることを教師が全体で紹介し、価値付ける。 ・引き続き、「めあて」から「まとめ」まで思考・判断する場面を設定したり、振り返りタイムを設けて自分で書いたり伝え合ったりして、学習に対する意欲が高まるような振り返りをさせる。	・「めあて」から「まとめ」まで思考・判断する場面を設定することはできた。振り返りタイムを設けて自分で書いたり伝え合ったりして、学習に対する意欲が高まるような振り返りをさせることができる時と、時間の関係で振り返りタイムを十分設けることができない時があった。	・引き続き、振り返りタイムを設け、自分で書いたり、ペアで伝え合ったりする。また、振り返りのポイントを伝え、学習に対する意欲が高まるような振り返りとなるよう支援するとともに、授業構成の時間配分を考え、振り返りタイムを確保する。

